今市同推協だより

VOL.31
2026.10 発行
今市地区人権・同和教育推進協議会

新任のご挨拶

今市地区人権・同和教育推進協議会　会長　桑原 雅次

今年の夏も猛暑が続き、年を重ねるごとに気候変動の影響が大きくのしかかってきているようです。

さて、本来なら総会の場で議事等を進めていただくところでしたが、直前に想像を超える令和８年６月出雲市今市町大規模火災が発生し、のっぴきならぬ事情で中止とさせていただきました。後に書面にて、役員改選等のご承認をいただき、今年度から本会の会長を仰せつかった桑原雅次と申します。未熟者ではありますが、皆様方のお力添えのもと、精一杯努めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

ところで、「人権・同和教育」といいますと難しく考えてしまいがちですが、人々が暮らしていくうえでとても大切な心の持ち方ではないかと思っています。私は、今からおよそ 20 年前に、１冊の絵本『いのちのまつり』と出会いました。そのお話は、ある地域の習わしで、お墓の前で大勢の人々がお弁当を広げて楽しそうにしているところに、里帰りしていた子どもの問いかけから始まります。



「お墓参り？」の問いにオバアは「ご先祖さまにありがとうを伝えるの。」ポワーンとしていた子どもにオバアは「坊やに命をくれた人はだれね～？」子どもは「それは……お父さんとお母さん？」続けてオバアは「そうだねえ。命をくれた人をご先祖さまと言うんだよ。」

このような会話から始まり、子どもはご先祖さまについて興味が湧き、いったい何人いるんだろうと数えはじめるというストーリーです。

子どもから両親、両親のそれぞれの両親……。やがてその絵本は飛び出しページで数えきれない程のご先祖さまが描かれていきます。わかっていることとはいえ、この描写力には圧倒されてしまいました。そこで、私も数値化してみようと計算したことがあります。自分を１代とすると両親が２代、10 代さかのぼるとご先祖さまは 512 人となります。20 代でなんと 524,288 人、28 代では１億人越えとなります。

何が言いたいかと申しますと、皆どこかで繋がっていることに気付かされます。そう考えると隣人はみな兄弟姉妹！？すると親しみが湧き、相手を思いやる心が芽生え、豊かな暮らしに繋がっていくような気がいたします。

草場一壽(2004).『いのちのまつり「ヌチヌグスージ」』. サンマーク出版



「幸せ」は人の数だけあります

Q じんけん 人権？

お互いの「幸せ」を大切にするにはどうするべきなのか。
知っているようで知らない人権のこと、
すこ～し考える時間をもちましょう。

**A 自分らしく幸せに暮らしていく権利のこと。
人は誰もが同じように人権を持っていて、
一人ひとりがかけがえのない存在です。**

自分の
人権感覚を
チェック!!



©2016 法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会

今市人権・同和教育講演会

多文化共生をまなぼう

2026 11/21（土）SAT

10:00－11:30

参加無料
お金 いりません

今市コミュニティセンター 2F 大会議室

演題 「多文化共生」という社会づくり
～「多様な私たち」の安心のために～

講演＆やさしい日本語のワークを予定しています

講師



ほりにしまさあき
堀西雅亮さん
（島根県外国人地域サポーター）

多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと
（総務省による定義）

やさしい日本語に言いかえると

ちがう文化をもつ人たちが、おたがいを大切にしながら一緒に暮らすこと

point
みじかく・かんたんに・はっきりと
わかりやすい“伝わる”日本語を使いましょう！

お問い合わせ・お申し込み

今市地区人権・同和教育推進協議会（今市コミセン内）
〒693-0001 出雲市今市町1578-2
TEL：21-5318 FAX：24-1706
MAIL：imaichi-cc@local.city.izumo.shimane.jp

←このQRコードからも申し込みできます